

FreezeSafe 温度低下検知インジケータ

コールドチェーンでは、設定温度が維持されていることの確認が重要です。
SpotSee FreezeSafeインジケータは、商品が設定温度以下の低温にさらされてしまった時の記録を残します。

特徴

- 簡単読み取り：温度が規定温度を下回ると、白色からマゼンタ色に変色します。コールドチェーンが維持されているかどうかの証拠となります。
- 簡単使用：予冷、事前準備の必要なし。
- 簡単導入：コストパフォーマンスにすぐれ、貼るだけで簡単に温度管理をすることが可能です。

使用方法

モニターする製品に直接貼り付けるか、包装の内側に設置します。受取人に見える位置に貼付することを推奨します。（清潔で乾燥した表面に貼り付けてください。）FreezeSafeが閾値温度の±1℃以下にさらされると、インジケータが白色からマゼンタ色に変わります。

用途

- ワクチン(Vaccine)、血液パック (Blood-pack)、医薬品 (Pharmaceutical product)、化学薬品(Chemicals)、温度敏感物(Temperature-sensitive products)など。
- 低温物流、倉庫での保管、荷物の仕分けや積み込み、トラック運搬までの全行程を管理した物流など。

変色サンプル



反応前

反応開始・反応中

反応後

仕様

反応温度	-3℃ / 27℉ 0℃ / 32℉ 2℃ / 36℉ 5℃ / 41℉
反応時間	60分以内 (0℃) 90分以内 (2℃) 120分以内 (-3℃、5℃)
温度精度	±1℃ / ±2℉
サイズ	21×21mm
変色	白色からマゼンタ色
保管条件	直射日光を避け、15℃~25℃の間で保管
保管期間	1年



アイピー技研株式会社

〒170-0003 東京都豊島区駒込2-3-1
(六興ビル)

<https://ondolab.com/>

TEL: 03-3917-3121 (代表)

E-mail: info@ondolab.com

ONDOLAB

反応時間は、閾値より1℃低い一定の温度に基づきます。より低い温度にさらされると、より速く変色し、閾値よりも高い温度にさらされると変色が遅くなります。